

新法で努力義務の「分別回収」

30市町村導入未定

「実施」13市町村

11年に分別回収を導入したいわき市は、22年のリサイクル率が22・7%と県平均を約10%上回る。担当者は「分別による市民の負担は生じるが、リサイクル率の向上には良い効果をもたらしている」と話す。

「リサイクル業者が近くにおらず、遠方に依頼すると費用がかさむ」（福島市）、「施設改修や新たな人員確保などの課題があり、新たな財政負担が生じる」（小野町）などと回答を寄せた。

財政負担重く



同法は、海洋プラスチックごみや気候変動などの問題を受け資源循環を促すため、22年4月に施行された。食品トレーなどのプラスチック容器

の分別回収は、容器イクル法に基づいてきたが、新法やストロー、容器以外の幅広も対象とした。

8月上旬に
上経過する
導入した自
と比べて差が大きく、26年

器包装リサ
き進められ
はスプーン
ンガーなど
いプラ製品
あるようだ。

本県のリサイクル率は22
年度までの直近10年間にわ
たり、12・13%台で推移。

22年度の全国平均19・6%

実施している
いわき市、二本松市、本宮市、大玉村、猪苗代町

一部実施している
会津若松市、磐前町、会津坂下町、湯川村、柳津町、昭和町、金山町、昭和村

未実施・予定あり
(本年度) 会津美里町
(2025年度) 須賀川市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町
(28年度) 楡枝岐村、三春町
(30年度までに) 白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町

未実施・予定なし
福島市、郡山市、喜多方市、相馬市、田村市、南相馬市、伊達市、榛沢町、国見町、川俣町、下郷町、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、楡倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、小野町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯坂村

自治体には町村、このうち、
8市町村は既存施設で対応
できるストローなどの軟ら
かいプラ製品に限って実施
していた。未実施の46市町
村のうち、導入時期を明示
したのは16市町村にとどま
った。分別回収していない
自治体の多くは、プラ製品
を不燃ごみと一緒に回収し
ているとみられる。

県目標に掲げる「8割以上」
に達する兆しは見えない。
県一般廃棄物課の担当者
は「プラスチックは多様な
製品に使われており、相当
な量がりサイクルに回せる
可能性がある」と説明。中
長期的な地球温暖化抑制の
意義や先進自治体の優良事
例などを伝えつつ、県全域
への浸透を図るとした。

調べてわかったこと、考えたこと (330 字程度)

リサイクル率を上げるためには、どんな手立てが必要だと考えますか？

